

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書

笠井葉月（アイルランド長期留学）

帰国して1ヶ月経ち、日々留学で得られたことの大きさを実感します。なぜ留学をしたかったのかを考えながら振り返りたいと思います。

私が最初に留学したいと思ったきっかけは、英語を話せるようになり、英語を使う人と友達になりたいと思ったことからです。単に海外の生活に憧れていたことも確かにありました。しかし、この長期留学に挑戦したかったのは、少なからず成長した自分の英語力を試したいと思ったことと、世界中の人と関わり自分の考えや知識などがどれくらい通用するのかを試したかったからです。漠然と貧困の国の人を助けたいという気持ちも英語力を身に付けたいことにつながっていました。そのような気持ちがあったから、留学中も様々な国の人と英語を使って会話することを心がけました。留学を通して英語力はとても上がったと思います。日常的な会話は苦勞することがなくなりました。また、自分の興味ある分野ならば英語で自信を持ち話すこともできるようになりました。現地で出会った難民、移民の友達に詳しい話を聞いたことは英語力の向上はもちろんのこと、知りたかった興味のあることを知られる契機となりました。これらの出会いが、今後の私の興味のある国際協力という点に影響することと思います。

帰国後一番改めて気付くことがあります。それは、日本国内で英語がどれくらい重要となるかということです。現在の日本人の英語力は高いとは言えません。最近になって英語教育の重要性が再認識され、小学校でも英語の授業が3年生から始まろうとしています。小さい時から英語に触れる点はよいことだと思いますが、日本語で行われる英語の授業はほとんど意味がないように感じます。言語教育が進んでいる国では、授業中、母国語を使うのを禁止し、学んでいる言語だけを使用するという形をとっています。しかし、受動的な授業が主流の日本では第二言語の発達は難しいものだと思います。言語を学ぶ上で一番大切なのは声に出すことだと私は思っていますが、日本の学校ではその時間はあまりとられず、聞いている状態が長いと思います。だから学校だけでは十分な英語力が児童・生徒に身につかないと思います。これはすごくもったいないことだし、これからある日本がより国際的な国となる前に改善したい点だと思います。日本以外の国では、英語が話せる人はたくさんいます。グローバルな世界が構築される中、日本は世界の国々と常に競争しなければなりません。第二言語となる英語の上達は急務だと思います。

10ヶ月の留学で私は辛いことの方が多かったと思っています。ホストファミリーとの生活は楽しいことばかりではありませんでした。日本での当たり前は、全く通用しない状況の中でどうやって乗り切ればいいのか、帰国するべきなのかと、悩んだ日もありました。しかし、諦めずに10ヶ月を成功させたのは、なぜ私がアイルランドにいるのかが常に脳裏にあったからだだと思います。国際的に通用する人材になりたいと思っていたのもそうで

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）留学結果報告書

笠井葉月 （アイルランド長期留学）

すし、自立心を養いたいと思っていたこともその要因です。その中で考えたのは、他国に住むということは、日本に住む以上の生活にはならないということです。当たり前のように綺麗な水が得られたり、当たり前のように安全に道路が歩けたり、当たり前のように3食食べられることがどれだけ幸せなのかを改めて実感しました。日本に暮らすということは、家族や親戚、地域の方々、国や県、市町村の目に見えない保護のもとに成り立っているのだと改めて考えさせられました。そういう当たり前の幸せを、これからは大切にしていこうと思います。そこから少しずつ自分の行動も変わってきたように思います。例えば、学校の空き教室を見て進んで電気を消したり、ゴミがしっかり分別されていなければ進んで分別したりしました。今まで気が付かなかったことに敏感になり、自分が正しいと思うことを今まで以上に進んで行うようになりました。さらに今まで気にならなかった日本社会の貧困問題だったり、日本と世界の情勢ももっと詳しく知りたかったり、視野が広がった気がします。

今回の留学で、学びたいことが確かなものになってきました。大学に進学し、今後さらには英語力を磨き、世界の人々と語り合い世界と日本の橋渡しになれるように頑張っていきたいです。

今年、留学の機会を得た本県の学生とも繋がり、留学生同士が交流できる場があればと思います。共通な話題を持っている留学生同士で、山梨に恩返しできることがたくさんあると思います。海外にいたときも、私は留学生同士の関わりを大切にしました。出自の違う留学生の様々な考え方、ものの見方はとても刺激的でした。それらの留学生たちと日々関わる中で、知識が増えると同時に自分の考え方、ものの見方も広がるようになりました。帰国生や、帰国子女の方々の集まる場に行き、どれほど他の人が成長し、私に何が足りないのかも見えると思います。そのような出会いや豊かな経験をこの山梨の地で共有できるように、これから私自身も働きかけていきたいです。

最後に、この事業を通し学んだことはたくさんありました。今回の経験生かし、私が何をすべきなのかを考え日々精進していきたいです。